



今しか
できないことが、
君を変えていく。

GUIDE BOOK 2025

住んで、触れて、学ぶ。
地域高2留学



内閣府 【主催】内閣府

お問い合わせ

『地域高2留学』事務局

support@kouniryugaku.jp

サイトにアクセスして
説明会に参加してみよう！

<https://www.kouniryugaku.jp/>



INDEX

目次	P01
大臣からのメッセージ	P02
地域高2留学とは	P03
応募について&スケジュール	P04
地域高2留学体験談 2期生編	P05
地域高2留学体験談 3期生編	P06
地域高2留学体験談 4期生編	P07
地域高2留学体験談 5期生編	P08
留学先校紹介	P09
教えて!地域高2留学	P14
地域高2留学Q&A	P15
地域高2留学の流れ	P16
在籍校関係者のみなさまへ	P18



内閣府
内閣府特命担当大臣
(地方創生担当)

伊東 良孝

皆さんの挑戦が、未来を創る

日本の未来を担う若い皆さんには、主体的に考え、選択・行動し、自らの人生を切り開いていく力が求められます。

高校2年生の1年間、行きたい地域を選んで学ぶ「地域高2留学」では、若い皆さんに選ばれる学校にしようと、高校と地域が連携・協力し、独自色の強い教育活動を展開しています。

新しい場所に行くのは、少し勇気が必要です。でも、きっと、それ以上にわくわくすることが待っています。

地域特有の自然や文化の中、幅広い年齢層、多くの職種、様々な考え方の住民の方々に接し、多くのことに挑戦してください。多様性の中で、視野を広げ、自分の強みを知り、「これからどんな未来を描いていくのか」考えてほしいと思います。地域の“大人”が皆さんの学びを応援してくれます。地域のすべてが学びの場で、主人公は“あなた”です。

高校生の今しかできない経験が、皆さんの未来を創る、将来の可能性を広げるきっかけになることを願っています。その“一歩”を踏み出してみませんか。

ABOUT

地域高2留学とは

地域高2留学。それは高校2年生の1年間、あなたの行きたい地域を選んで学べる国内留学制度です。新しい土地だからこそ得られる、かけがえのない時間がそこにはある。高校生の今しかできない体験は、きっとあなたの将来を広げるきっかけになるから。さあ、あなたの意志で、新たな一歩を踏み出そう。



POINT 01

自主的な学校生活を送ることができる

留学先では在籍校より人数が少ないことがほとんどです。
その分、人との関わりが深くなり、毎日の活動が自然と主体的になっていきます。

POINT 02

世代を超えた出会いがある

同級生だけではなく、地域で働く大人たちや、幅広い世代の地元の方々など、
たくさんの人との絆が生まれます。

POINT 03

地域活動で多様性を知ることができる

どの地域も、地域と学校が連携した独自性のある教育活動を展開しています。
「都会」に対する「地域」という言葉では括れない、地域の多様性を発見することができます。

APPLY

応募の際の注意点

「地域高2留学」に応募の際には、以下の点にご注意ください。詳細は「地域高2留学の流れ」(P16)でご確認ください。
また、留学説明会ででもご紹介します。

1

応募時に高校1年生であること(学年制ではない場合は、以下の「2」の条件を満たしていること)

2

1年間の地域留学を終えた後、在籍校で1年を過ごし、卒業すること

3

生徒が留学先校で履修した単位を、在籍校が認定すること

4

応募前に、在籍校と留学先校で留学可能である旨の確認が得られていること
(特に教育課程上問題ないことが両校で確認できない場合、留学は実現しません)

5

他、各留学先校が定める応募条件を満たしていること
(詳細は「地域高2留学」公式サイトで「応募・検査要項」をご確認ください)

SCHEDULE

留学検討から受け入れ決定までのスケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
事務局 留学先校	6/24(火) オンライン説明会 6/30(月) オンライン説明会	7/9(水) オンライン説明会 7/17(木) オンライン説明会 7/25(金) オンライン説明会	8/3(日) 合同学校説明会 8/18(月) オンライン説明会 8/23(土) オンライン説明会 8/29(金) オンライン説明会	①国立オリンピック 記念青少年 総合センター		11/10~11/21 検査期間 11/25 検査結果通知	12/1~12/5 繰り上げの場合の 検査結果通知
留学を 検討する 生徒 在籍校	STEP 01 興味をもったら事務局へメールで連絡 在籍校へも相談	STEP 02 在籍校の先生も含めて、留学先校の検討	STEP 03 留学先校への現地訪問の実施		10/27~11/7 応募期間	11/25 受け入れ可否 決定	
					STEP 04 応募する・ 検査を受ける		

※受け入れ状況により、2次募集を行う可能性があります。

地域高2留学
体験談
2期生編
(現大学2年生)



高野 優乃さん

在籍校
横浜市立東高等学校
↓
留学先校
宮崎県立飯野高等学校



ここでしかできない経験で
新しい自分に出会う。

地域高2留学に挑戦したきっかけは？

当時通っていた高校は語学や国際問題に力を入れており、周囲は海外志向が強い中、私は国内に目を向けることに興味がありました。そんな時、SNSでこのプログラムを知り検討し始めました。私は2次募集で応募したこともあり選択肢が限られる中で、身近な環境でフィールドワークができる宮崎県の飯野高校に惹かれました。親族が近くに住んでいて安心できたのも、留学を決めた理由の一つです。

留学先ではどんなことに力を入れていましたか？

飯野高校では探究の授業に力を入れており、地域の方々も協力的でした。私は観光資源制作として、「産業廃棄物になってしまう地酒の焼酎カスから入浴剤をつくること」をテーマに、酒蔵見学や温泉水の提供など多くの協力を得ながら活動しました。目標としていたコンテストでの探究成果の発表を達成できただけでなく、優秀賞をいただけたのは、地域の皆さんの支えがあったからこそだと感じています。

留学先から帰ってきて変わったことはありましたか？

留学を通じて「誰かのためにになりたい」という思いが強まりました。復学後、在籍校生約300人の前で探究の大切さをプレゼンする機会がありました。それを聞いた1年生が同じ飯野高校へ留学したことで、自分の影響力に自信を持つことができました。自分が前例を作ることで、後輩の選択肢を広げる支えになりたいと考えようになりました。こうした思いは、留学中に多くの方が協力してくれた経験から生まれたものだと感じています。

【留学生活1年ハイライト】

4月	入寮式
5月	青島行った
6月	大学訪問
7月	農家民泊
8月	文化祭
9月	体育祭

留学の経験は受験に影響しましたか？

大学受験は総合型選抜という自己推薦のような形式で受験しましたが、地域高2留学の経験を軸にエントリーシートを記載しました。特に、コンテストで優秀賞をいただいた経験は一番のアピールポイントとなり、受験において留学の経験を活かすことができました。受験期間中も、「1年間の留学にチャレンジできた」という経験が精神的な支えとなり、自分を強くしてくれたと感じています。

今はどんなことを学ばれていますか？

留学を通じて学びを地域に還元したいという思いが強まり、法政大学現代福祉学部で地域福祉や街づくりを学んでいます。観光・農業・経営・教育など多角的な分野から、地域の課題解決に向けたアプローチ法を模索しながら、関係人口拡大を目的とした学生団体を立ち上げ、地域との交流イベント等を実施しています。

実際に体験したからこそ感じる「地域高2留学」の魅力とは？

日々の経験がどれも新鮮で、自分の世界が広がっていく楽しさを実感できることです。また、困難に向き合いながら挑戦を重ねたことで、大きな自信にもつながりました。いずれも地域の方々との出会い・支えがあったからこそその経験だと思います。地域高2留学は、人生の中でも大きな選択のひとつです。その選択肢が目前にあるなら、ぜひ勇気を持ってチャレンジしてほしいです。その一歩が、新しい自分に出会うきっかけになるはずです。

10月	もらった栗でケーキづくり
11月	イチョウの落ち葉拾い
12月	修学旅行
1月	サイエンスキャスル出場
2月	鍋パ
3月	百人一首大会・総括報告会



まず行動する習慣が
未来への財産になる。

地域高2留学
体験談
3期生編
(現大学1年生)



大城 爽一郎さん

在籍校
沖縄県立首里東高等学校
↓
留学先校
山形県立小国高等学校

地域高2留学に挑戦したきっかけは？

学校で配布されたチラシです。始めは海外留学かと思い「英語に自信はないし…」と思っていたのですが、サイトを見てみると国内の地域留学だと知りました。3年間同じ高校に通う以外の選択肢があることに興味を持ち、留学を検討し始めるようになりました。

なぜ小国高校を選びましたか？

私の住む沖縄県は海がすぐそばにあるため、海に囲まれて生きてきました。せっかく環境を変えるなら、まだ何も知らない、これまでの環境とは180度違った場所に行ってみたいと思い、山に囲まれた小国高校に行こうと決断しました。

復学したことで、大変だったことはありましたか？

大きな困難はありませんでした。留学先では自分から動かないと何も始まらない環境だったため、主体的に行動する姿勢が身につきました。特に、留学中に行われた「全国高等学校小規模校サミット」で、小国の歴史や魅力を発表するために、自ら行動して学ぶ習慣ができたと感じています。この習慣は受験勉強にも活きており、どこがわからないのかを考え、自ら学ぶ姿勢を持てるようになりました。

留学の経験は大学受験に影響しましたか？

当初は県内の大学を受験しようと考えていましたが、留学を経て知らない土地への抵抗がなくなり、県外で挑戦したいと思うようになりました。学部は法律志望でしたが、留学を機に地域コミュニティー等を学ぶことができる社会学に興味を持つようになり、現在は松山大学で社会学を学んでいます。

【留学生活1年ハイライト】

4月	お花見
5月	山登り・ハイキング
6月	インターンシップ(自分は農家に行った)
7月	全国小規模校サミット
8月	夏休み・夏祭り・竹割ってそうめん
9月	神社のお祭り

大学生活の中で留学の経験はどのように活きていますか？

限られた時間で多くを得ようとした留学経験から、「まずやってみる」姿勢が自然と身につきました。現在はバドミントン部や地域ボランティアサークルに参加し、進学先の松山市を通る予讃線沿線の活性化や、松山市の魅力発信にも関わっています。高校時代には想像できなかったほど、積極的な大学生活を送ることができています。

留学の経験から、大学、そして
その先の未来はどのように考えていますか？

将来は政治家になって沖縄や那覇の課題を解決したいと思っていました。留学を通じて、限界集落の現実を知り地域課題を目の当たりにしました。人口減少はいずれ地元の沖縄にも直面する可能性が高い問題ですので、ぼんやりとしていた課題の輪郭に触れた感覚がありました。こうした体験から、大学での学びを経て、地域の身近な問題を解決し、街を良くしていく政治家になりたいという解像度があがったように感じています。

今だからこそ感じる「地域高2留学」の魅力とは？

「未来への財産」と考えています。留学中は必死に適応しようとしていましたが、その経験はその後の学びや人生に大きな影響を与え続けています。「まず行動する」習慣は、苦手意識のある科目への主体的なアプローチにも役立っています。また、地域の課題に対する解像度が向上し、将来像にも具体性を持たせることができました。留学の1年間は、今後の人生の糧となり続けると感じています。

10月	みらたび参加・神社の稲刈り
11月	修学旅行
12月	小国フェス
1月	スキー授業(米沢スキー授業)
2月	みらキャリア(地域みらいキャリア) 東京発表会・留学生活についての取材(内閣府)
3月	一年間の振り返り発表会

地域高2留学
体験談
4期生編
(現高校3年生)



藤村 碧衣さん

在籍校

桜林高等学校



留学先校

宮崎県立飯野高等学校



自分の視野や価値観を
大きく変えてくれる。



地域高2留学に挑戦したきっかけは？

中学生の頃から留学に興味がありました。その中で海外ではなく、まず自分の暮らす日本のことを知りたいと思っていました。ある日SNSを見ていると1年間の短期で留学できるチャンスがあることを知り、「みんながやらないことをやってみたい」という強い思いから地域高2留学にチャレンジすることになりました。

なぜ飯野高校を選びましたか？

初めは校舎の写真が目に残りました。その後学校を比較していく中で、週に2時間「探究」の授業があることを知りました。もともと座学が苦手なこともあり、自分でテーマを決め、外に出て主体的に学べることがとても魅力的に感じたため、飯野高校を選びました。

留学先ではどんな生活を過ごしていましたか？

寮生活をしていたので、朝の点呼から始まり、みんなでバス通学し、授業後は河川敷で遊んだり部活に励んだりしていました。休日には地域の方とピザ作りや山登り、星座観察など、地域ならではの体験を楽しんでいました。

探究活動はどんなテーマを選びましたか？

医療と教育を掛け合わせたテーマを選び、飯野高校があるえびの市の課題(医療従事者の減少と不登校児童の多さ)に着目しました。特に教育面では、小学校で子どもたちに授業を行う機会をいただきました。座学ばかりはつまらないという子どもたちの声をもとに、

主体的に学べるアクティブな授業を企画・実施しました。地元比べ、地域の協力体制が手厚いえびの市だからこそ実行できた活動だなと感じています。

留学以前の自分と比べて何か変化はありましたか？

中学校の先生を目指して教育学系に進むつもりでしたが、留学中に本気で向き合ってくれる先生や地域の方々に会い、教員という枠に縛られなくても良いのかなと思うようになりました。この1年間の学びを今後の人生につなげるため、地域創生について学びたいという新たな目標が生まれました。

実際に体験したからこそ感じる「地域高2留学」の魅力とは？

自分を変えるためのチャンスになる時間や、飛び出したからこそ得られた経験は、自分にとって大きな価値になると実感しています。不安なこともあるかもしれませんが、自分の視野や価値観を大きく変えてくれる素晴らしい時間になるので、本当に1人でも多くの人に体験してもらいたいと思っています。

「お・むすび」の活動を通じて地域高2留学を広めていく

「お・むすび」は、1期生の先輩が立ち上げたコミュニティです。地域高2留学の参加者をつなげるために月に1回zoomで交流を図ったり、制度を広める活動をしたりしています。私は「知らなかったから損をする」ことが嫌で、この制度が誰かの可能性を広げるなら、全国の高校1年生に届けたいと思っています。「お・むすび」の活動を通じて、より多くの人に制度が広がってほしいと願っています。

【留学生活1年ハイライト】

4月	歓迎会・いちご狩り
5月	京町温泉マラソンボランティア・星空観察
6月	ピザ作り体験・体育祭
7月	花火大会
8月	台湾修学旅行プロデュース大会
9月	文化祭 映画撮影

10月	靱帯損傷
11月	夜に芝生でサッカー
12月	福島・東京修学旅行
1月	3年生のグローバル学習成果発表会
2月	365合宿
3月	誕生日会・成果発表会

たくさんの人が
味方になってくれる挑戦。



地域高2留学に挑戦したきっかけは？

高校生になったらもっとアクティブに活動して「自分を変えたい」と考えていました。留学を検討する中で、地域高2留学に出会い、「これしかない!」と思い挑戦を決めました。

なぜ大東高等学校を選びましたか？

全国にある候補の中から、3つの軸で学校を選定しました。1つ目は、自分の人生でなかなか行く機会がないような場所を選びたいという点です。2つ目は探究活動に力を入れていること、そして3つ目は少人数であることです。これらの条件を叶えられる留学先として、島根県の大東高等学校を選びました。今のクラスは少人数のため、自分の意見も主張しやすく、一人ひとりと「深く関われる環境」であることが嬉しいです。

留学先ではどんな特色ある取組をしていますか？

大東高校のある雲南市では、スペシャルチャレンジJr.プログラムという自分らしい社会のためのプロジェクトに挑戦するプログラム(以下「社会教育活動」という。)を行っています。私が取り組んでいるテーマは、「県外から来た私だからこそその視点で、雲南市の素敵な人柄や日常のコミュニケーションについて伝える」ということです。このテーマを軸に今プロジェクトを立ち上げている段階です。まだ始まったばかりですが、今後どのように活動を展開していくかすごく楽しみにしています。

留学先ではどんな生活を過ごしていますか？

平日は朝から授業を受け、夕方は地域文化部のボランティア活動や

【留学生活1年ハイライト】

4月	スペシャルチャレンジJr.プログラム※1スタートアップ
5月	地域での田植え・蕎麦打ち体験
6月	下宿先での笹巻き作り
7月	球技大会
8月	大東七夕祭り
9月	織部祭(学園祭)

友達と過ごす時間を大切にしています。帰宅後は社会教育活動の資料づくりや勉強に取り組んでいます。休日は自分の住んでいる町を探索してみたり、図書館に行ったり、ときには地域の方と一緒に田植え体験に参加するなど、充実した毎日を送っています。

留学以前の自分と比べて何か変化はありましたか？

積極的にコミュニケーションをとれるようになりました。私はもともと人見知りの性格で、初対面の人とは緊張し上手く話せないことも多くありました。しかし、留学をしてからは周りに誰一人知り合いがいない環境でのスタートだったので、精神的に強くなれたと実感しています。

これから留学中に力を入れたいことはありますか？

下宿先のご夫婦と一緒に食事しながらお話しするのですが、たまに方言で何を言っているか分からないこともあるので、留学している間に私も方言を習得して使いたいです。スタートしたばかりの社会教育活動にももっと力を入れていきたいですし、こうした活動を発信することで一人でも多くの方に地域高2留学の魅力を伝えていきたいと思っています。

実際に体験したからこそ感じる「地域高2留学」の魅力とは？

不安を感じる方も多いと思いますが、高校生だからこそ、周囲からのサポートや応援が多く、安心して新しい挑戦ができる環境があります。少し勇気を出して飛び込めば、自分の世界が大きく広がり、思っている以上にたくさんの人が味方になってくれる、そんな温かさを実感できる留学です。

地域高2留学
体験談
5期生編
(現高校2年生・現役留学生)



山内 双葉さん

在籍校

鹿児島第一高等学校



留学先校

島根県立大東高等学校

※1 雲南市のみらいをひらく高校生の特別な社会教育プログラム(プロジェクトベースラーニング)

北海道



01 おおぞら大空高等学校

北海道



02 しゅり斜里高等学校

北海道



03 ほろかない幌加内高等学校

北海道



04 むかわ鶴川高等学校

山形



05 おくに小国高等学校

石川



06 のと能登高等学校

三重



07 すばる昂学園高等学校

大阪



08 とよなか豊中高等学校 能勢分校

全国に広がる地域高2留学

留学先ご紹介



島根



09 いいなん飯南高等学校

島根



10 しまねちゅうおう島根中央高等学校

島根



11 だいとう大東高等学校

島根



12 みとや三刀屋高等学校

広島



13 おおさきかいせい大崎海星高等学校

高知



14 れいほく嶺北高等学校

宮崎



15 いいの飯野高等学校

宮崎



16 たかちほ高千穂高等学校

おおぞら

01 北海道大空高等学校

〒099-3211 北海道 網走郡大空町 東藻琴79番地4
TEL 0152-66-2061



#飛行機人 #地域探究 #マイプロジェクト #主体性
#社会を1mmでも前に動かす #自分の想像を超える進路



大空のもと
路を切り拓く飛行機人を育む。

大空高校は「主体的・対話的で深い学び」を中心に据え「個別最適化された学び」を実施しています。生徒それぞれの学習スタイルや進路に合わせた学びで、生徒の思いの幅広い進路の実現を目指しています。新設校だからこその余白があり、生徒自身が学校づくりの「当事者感」を持てることも本校の特徴です。「総合的な探究の時間」の時間数も多く、自身の進路を見据えた地域の問題解決に挑戦しています。公設塾が併設されている寮では、生徒が主体となって寮内のルールや規則を決定し、主体性・協働性を育てています。

留学にかかる費用
約840,676円

※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

■寮(令和7年度実績)
寮費15,000円/月(180,000円/年)
食費42,600円/月(426,000円/年)
寮振興会費4,000円/年
合計61,000円
※毎日3食食べた場合の年額です
※閉寮期間は除かれています

■その他費用(令和7年度実績)
校納金 37,800円
修学旅行旅費 約180,000円
学級諸費 12,876円

募集学科・コース 総合学科	募集人数 3名	住環境 寮	検査方法 書類審査・面接 (面接はオンラインにて実施いたします)
------------------	------------	----------	--

ほろかない

03 北海道幌加内高等学校

〒074-0495 北海道 雨竜郡幌加内町 字平和
TEL 0165-35-2405



#そば打ち #ワカサギ釣り #雪遊び #調理実習 #農業



日本語の通じる外国、
北海道幌加内高等学校

北海道の中でも超豪雪地帯として有名で、最高品質の雪質とウサギやキツネ、シカなど野生動物が現れる町でもあります。授業では幌加内産の蕎麦粉を使ったそば打ちの授業や、日本一大きな人造湖、朱鞠内湖(しゅまりないこ)でワカサギ釣りの授業など一風変わった授業が多く、農業高校の特性を生かして学校や近隣の町に出向き、販売会などの授業も行われています。多くの生徒が寮で生活しており、様々なイベントが寮でも行われています。

留学にかかる費用
約950,000円

※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

■授業料・寮費など
合計770,000円/年
学級費、通信費、手帳代、進路指導費、情報処理演習費&検定料、実習教材費(そば、食品)PTA入会費、農業クラブ入会金など
上記について4月にかかるお金があるため、月々にお支払いする金額が異なります。

■その他費用
修学旅行費:180,000円

募集学科・コース 農業科	募集人数 4名	住環境 寮	検査方法 書類検査・面接 (面接は現地での実施とします)
-----------------	------------	----------	------------------------------------

むかわ

04 北海道鶴川高等学校

〒054-0032 北海道 勇払郡むかわ町 福住4丁目2番地1
TEL 0145-42-2085



#むかわ学 #チャレンジスタディ #少人数で和気あいあい
#ゼロからスタート #地域に密着



可能性“鶴”限大∞

「鶴川」は「むかわ」と読みます。町を流れる清流の名前が、町の名前です。そんな「むかわ町」にある「鶴川高校」では、探究学習「むかわ学」や長期インターンシップ「デュアルシステム」を通じて、地域との交流を活発に行っています。放課後は、部活動に真剣に取り組むのもよし、アルバイトで社会経験を積むのもよし、公営塾(無料)で勉強を頑張るのもよし… あなたのやりたいことを鶴川高校は全力で応援します!

留学にかかる費用
約1,000,000円

※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

■町内のアパート
家賃、食費、光熱水費等 自己負担

募集学科・コース 普通科	募集人数 2名	住環境 町内アパートでの一人暮らし	検査方法 書類検査・面接 (状況によってはオンライン面接)
-----------------	------------	----------------------	-------------------------------------

09

地域高2留学

地域高2留学

10

05

おくに

山形県立小国高等学校

〒999-1352 山形県 西置賜郡小国町 大字岩井沢621
TEL 0238-62-2054

#白い森未来探究学 #小規模校サミット #山 #雪 #マタギ

挑め、ともに！

山形県の南西部に位置する小国町は、広大なぶなの森にかこまれた人口約6,500人の町です。ここには友達や先生だけでなく、地域の大人も巻き込みながら、「ともに挑める」学びのフィールドがあります。小国高校の総合的な探究の時間である「白い森未来探究学」や「全国高等学校小規模校サミット」を通して、「主体性」「挑戦心」「協働力」を養い、「自分らしく生きていく力」を身に付けましょう！

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
普通科	2名程度	寮またはホームステイ	書類検査・面接

06

のと

石川県立能登高等学校

〒927-0433 石川県 鳳珠郡能登町 宇出津マ字106番地7
TEL 0768-62-0544

#世界農業遺産 #里山里海 #自分の未来を「デザイン」 #専門性の高い学科が充実 #地域と密着した課題解決型学習

君だけの花を咲かせる場所

能登町は能登半島に包み込まれた内海に位置する小さな町です。世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」、日本遺産に認定された「能登のキリコ祭り」など、世界に誇れる自然・文化・伝統があります。これに加え、古くから能登を表すときには「能登はやさしや土までも」という言葉が使われるように、地域の人たちは素朴で温かいのが魅力です。授業や課外活動でも地域と繋がる場面が多いため、能登町を第二の故郷として感じてもらえることでしょう。

留学にかかる費用
約740,000円

※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

■寮
45,000円/月
住居費、食費(土日含む)
光熱費、Wi-Fi込
■その他費用
200,000円程度
(研修旅行が海外の場合)

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
地域産業科(水産選択・農業選択・ビジネスコース)、普通科	最大3名	寮	書類検査・面談

09

いいなん

島根県立飯南高等学校

〒690-3401 島根県飯石郡飯南町野萱800
TEL 0854-76-2333

#寄り道エール #「そうぞう」しよう #余白あります。

「寄り道」は一生の宝物。

「猪突猛進」の由来となっているイノシシの姿もよく見かける飯南町。クマの目撃情報が校内放送で流れることだってあります。そんなまちで過ごす1年間は、思う存分「寄り道」してほしい。「なんでだろう?」「なんか気になる」「おもしろそう」という感覚をほったらかしにしないでほしい。自分や友達、先生、地域住民とゆっくり向き合えるからこそ、未だ見ぬ可能性を「そうぞう」できるはずです。私たちは皆さんの「寄り道」を応援しています。

留学にかかる費用
約771,000円

※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

■寮
576,000円/年
(土日含む1日3食、光熱費含む)
※住所を飯南町へ移した場合:
456,000円/年
■その他費用
教材費:25,000円
研修旅行費:70,000円
諸会費:100,000円

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
普通科	1名	寮(集団)	書類審査・面接 (面接は現地での実施を原則とします)

10

しまねちゅうおう

島根県立島根中央高等学校

〒696-0001 島根県 邑智郡川本町 川本222番地
TEL 0855-72-0355

#明日への扉を開く探究 #ふるさと学 #まちごととキャンパス学習

変わっていく、変えていく。

島根中央高校には、「こんな自分を目指したい」という夢を実現するために、授業や部活動、個人探究に全力で取り組む生徒と教職員がいます。そして、それを全力で支えてくれる地域があります。多様な生徒と大人、そして、学校と地域が一体となり「自立・共生・挑戦」の力を育む島根中央高校で「今」と「未来」に挑戦しましょう。

留学にかかる費用
約601,600円～
706,500円

※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

■寮
男子 41,000～44,000円/月+1/3月(入寮費)
女子 41,000～49,500円/月+1/3月(入寮費)
(土日含む1日3食、光熱費含む)
■その他費用
学校生活に必要な諸経費 8,000円程度/月
(通足等行事、模試、エアコン会計 等)

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
普通科	2名	寮 女子4名一室 男子4～6名一室 または個室	書類審査・面接 (面接は、現地もしくはオンラインのいずれかの方法で実施します)

07

すばる

三重県立昴学園高等学校

〒519-2593 三重県 多気郡大台町 茂原48番地
TEL 0598-76-0040

#きらら寮 #150人の大家族 #新しい自分に会える町

新たな自分探しの1年間！

県内外から集まった約150名の友が、集団生活を送っている寮。そこは多様な色彩あふれる場所です。普段の生活や寮パーティーなどの行事を通して「自律する力」「個性を大切にする」「忍耐力」「他者への思いやり」を学びます。これらは集団生活を体験したからこそ学べることです。日々の生活の中で、人との距離感や接し方など様々なことに気づき、時には悩み、戸惑いながらも一つ一つを乗り越えて、一人一人がたくましく成長します。

留学にかかる費用
約900,000円

※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

■寮
居住費:60,000円/月
※食費(土日祝も3食付) 光熱費を含む
閉寮時宿泊費:1泊5,000円
※閉寮時は帰省又は保証人宅に
宿泊のどちらかを選択可能
※町から10泊分の補助あり
■その他費用
学校諸費:約180,000円
※学年会計など

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
総合学科	2名	寮	書類検査・面接
※寮の事情により令和8年度募集は女子のみ			

08

とよなか のせ

大阪府立豊中高等学校 能勢分校

〒563-0122 大阪府 豊能郡能勢町 上田尻580
TEL 072-737-0666

#地域学習 #里山体験 #グローバル #グローカル

地域の課題を
グローバルな視野で考える

能勢分校は、「地域とともに」、「地域のために」課題を掘り下げ、生徒が自分の答えを出す課題探究授業に力を入れています。また、小規模校でありながら毎年世界各国から海外留学生を受け入れるなど文化の多様性を学ぶことができる学校でもあります。町の暮らし・文化・地域産業を学ぶ体験プログラムに参加しながら、あなたも多様な生徒と共に地域課題を考えるグローカルスタディに参加してみませんか。

留学にかかる費用
約990,000円

※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

■下宿
約70,000円/月(光熱費、食費含む)
※長期休職中の食費は別途、
特定期間における冷暖房費は別途
■その他費用
約150,000円/年
PTA会費、生徒会費、PTA教育後援基金費、学年費、修学旅行費などの合計

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
総合学科	1名程度	下宿	書類審査・面接 (面接は現地での実施を原則とします)

11

だいとう

島根県立大東高等学校

〒699-1251 島根県 雲南市大東町 大東637
TEL 0854-43-2511

#スペシャルチャレンジ留学 #自分の可能性を拓く #自分と地域の未来を紡ぐ

チャレンジが連鎖する
雲南でマイテーマを深める！

緑豊かな島根県雲南市大東町にある、創立から100年以上の歴史をもつ伝統校です。「雲南式探究」では、“地域パートナー”をチームに迎え、共に活動を考え取り組みます。大東地区の中心部には伝統の「七夕祭り」などの賑わいがあり、山あいの集落には棚田100選にもなっている日本の原風景が色濃く見られ、初夏にはホテルが飛び交います。高校生の「やってみたい!」を歓迎する人々との出会いが、大東高校生を応援しています。

留学にかかる費用
約750,000円

※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

■下宿
住居費:50,000円程度/月
※食事込み
■共同下宿
住居費:48,500円程度/月
■その他費用
沖縄研修費:約150,000円

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
普通科	1名程度	下宿または共同下宿	書類審査・面談

12

みとや

島根県立三刀屋高等学校

〒690-2404 島根県 雲南市三刀屋町 三刀屋912-2
TEL 0854-45-2721

#日本一チャレンジにやさしいまち #キャリア教育優良学校 #社会に開かれた教育課程

地域が本気で応援する
スペシャルチャレンジ留学

桜並木が美しい三刀屋皮川を眺め、昔ながらの街並みの中にたたずむ総合学科の学校です。総合学科特有の多様な選択科目により、個々の希望進路の実現を果たしています。地域のひとともに探究する「雲南式探究」などの探究プログラムや、数が豊富で多様な部活動。さらには主体的に挑戦する「スペシャルチャレンジ」r.プログラムなど、地元雲南市を舞台に、生き生きとした人々と出会い、自分の可能性を伸ばすことができる環境が、三刀屋高校には整っています。

留学にかかる費用
約722,000円

※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

■寮
48,500円/月(補助による減額あり)
※住居費・食費・光熱費込み
■その他費用
東京研修旅行費:約140,000円

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
総合学科	1名程度	寮	書類審査・面談

13

おおさきかいせい

広島県立大崎海星高等学校

〒725-0301 広島県 豊田郡大崎上島町 中野3989-1
TEL 0846-64-3535

#大崎上島学 #瀬戸内×青春 #やってみたいが実現できる #輝志海星



やってみたいを
実現できる愛ランド 大崎上島

大崎海星高校では、地域を題材にしてリアルを学べる課題発見・解決型のキャリア教育である大崎上島学を行っています。地域にある課題を発見し解決することで、自ら社会をよりよくできると実感できます。教職員や魅力化スタッフだけでなく、地域の方々もサポートし、生徒がやりたいと思ったことを体験することで、様々な価値観を学ぶことができます。

留学にかかる費用
約900,000円

※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

■下宿
下宿：約30,000円/月
共益費：約7,000円
食費と電気代は実費
※昼食：1食600円で学校で注文可能
※夕食：1食550円で週4日まで注文可能
(地域の方々が夕食を作ってくださいませ)

■その他費用
教材費：約20,000円
諸費：約60,000円
修学旅行：約150,000円

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
普通科	2名	下宿	書類検査・面接 (オンラインの予定)

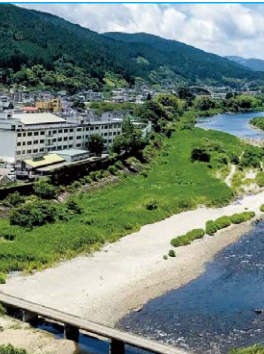
14

れいほく

高知県立嶺北高等学校

〒781-3601 高知県 長岡郡本山町 本山727
TEL 0887-76-2074

#自分で作る寮生活 #清流徒歩0分 #嶺親(みねおや)さん #地域探究



水と大地の学び舎

「地域ってナンだ??」高校のある本山町は人口3,000人の小さな町。そんな町だからこそ、この地域では全員が「主人公」。あなたの存在で、この町の未来だって変えられるかも?ワタシがつくるから、いつだってオモシロイ。そんな「ワタシ」を支える、「仲間」が「オトナ」が「自然」が、この場所の何よりの魅力です。「やってみたいことがある!!」「やりたいことを見つけたい!!」そんなアナタにおススメの環境です!!

留学にかかる費用
約647,000円

※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

■寮
寮費50,000円/月

■その他費用
学校給食費47,000円程度/年
その他教材費等

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
普通科 (文系/理系/農業系/ 商業系より選択)	女子のみ 若干名	寮	書類検査・面接 (面接は現地での実施を原則としますが、状況によってオンラインとなる場合もあり)

15

いいの

宮崎県立飯野高等学校

〒889-4301 宮崎県 えびの市 原田3068番地
TEL 0984-33-0300

#地域と越境する学びがある高校 #探究でつかむワクワクの未来 #えびのの大人が本気で応援してくれる学校



「地域と世界をつなぐ、
越境する学びの舞台」

#地域も世界も、ぜんぶが学びのフィールド!飯野高校では、年間100人以上の地域の大人たちが「先生」として関わり、生徒はまちに飛び出して、リアルな課題や人との出会いから実践を通して学びます。プロジェクトは、地元えびの市にとどまりません。県外や海外ともつながり、自分の「問い」や「ワクワク」をどんどん越境させていきます。地域も、県外も、海外も。「ここにいる、どこへでも行ける」学びの場、それが飯野高校です。

留学にかかる費用
約830,000円

※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

■寮
約60,000円/月

■その他費用
学費：約110,000円
(学校納入費47,000円程度
教科書代12,000円程度
副教材費 45,000~50,000円程度)

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
普通科 生活文化科	あわせて 最大5名程度	寮	書類検査・オンライン面接

16

たかちほ

宮崎県立高千穂高等学校

〒882-1101 宮崎県 西臼杵郡高千穂町 大字三田井1234番地
TEL 0982-72-3111

#世界農業遺産 #年間130万人が目指す絶景 #神話と伝説のまち



ここでの経験が、
あなたの未来を創る。

高千穂は国内外から年間130万人以上が訪れる九州有数の観光地。世界農業遺産等の国際認証も獲得するなど、自然豊かな町です。まちの大人と話せる機会も多く、地域に密着した活動ができます。世界から認められたまちにある高千穂高校で、あなたの「挑戦の種」を一緒に見つけませんか?

留学にかかる費用
約1,100,000円

※留学にかかる正確な費用については、必ず各学校に個別にお問い合わせください。

■下宿
70,000円/月
※光熱水費、2食(朝・夕)の食費を含む。
休日の食事は受け入れ家庭による。
※下宿費は受入家庭により、
月額6万円~9万円の間で
変動する可能性あり。

■その他費用
修学旅行費：90,000円/年
学校納入金等：63,592円/年
制服・体操服購入費：99,350円
※学校納入金はコースによって
若干の変動あり。

募集学科・コース	募集人数	住環境	検査方法
普通科普通コース 普通科特進コース	2名	下宿	書類審査・面接 (面接は現地での実施を原則とします)

VOICE

現役留学生に聞く 教えて! 地域高2留学

なぜ地域留学をしようと思ったの?

高1の夏に将来の夢を見失ってしまったことがきっかけです。生まれ育った東京を飛び出して、1年間自然豊かな環境でさまざまな体験をし、将来自分がどうなりたいかを見つめ直したいと思ったからです。

今の環境を変えたい、もっと他の地域について知ってみたい!そして自身のスキルアップができるとして留学を希望しました。

自然の多い落ち着いた場所で暮らしてみたかったから。

ぶっちゃけ大変なことは?

高2から編入するため、新しい環境に馴染んでいくことです。ただ地域の人含めクラスの間みんな優しいので、少しでも行きたい気持ちがあるなら、思い切ってチャレンジするべきだと思います!

1人暮らしで誰も起こしてくれる人がいないので、二度寝ができないこと。また、在籍校と留学先の高校のカリキュラムの違いがあり、1年生で学んだ科目を再履修しなければいけない科目があることや自学自習しなければいけない科目があること。

留学先に持っていった良かったものは?

町の体育館などで遊んだり、活動したりすることが多いので室内用の運動靴!

地元と大きく気温が違い、同じ月でもとても寒かったので、ブランケットを持って行ってよかったです!学校で足にかけています!

ポケット Wi-Fi です!

推しのポスター、アイロン、ヘアアイロン、家の枕と布団と毛布、裁縫道具!

留学前に、やっておいたほうが良かったことある?

一人暮らしが始まるので、簡単な料理方法をマスターしておけば良かったと思います。ですが、なんとかなるだろう精神で知らない土地に飛び込んだら本当になんとかになって、実際今不自由なく生活できています!

留学理由を明確にしておくこと、やりたいこと・挑戦したいことをたくさん考えておくことです!

留学前に地元の友達とたくさん遊んでおくべきだと思います!家事、料理、起床は留学先での生活を始めれば案外なんとかなります!

留学を考える後輩にメッセージを!

人と関わる楽しさや、地域や環境の違いの面白さ、その地域ならではの魅力や出会いがあります。ごく限られた人しか出来ない良い経験だと思うし、これからの人生に活かせることばかりだと思います!今のうちにたくさん経験をして、学んだことをぜひ自身の学びに活かしてほしいです!

高2留学は生まれ育った土地ではできないような体験を通して人生経験を広げてくれたり、新たな価値観と出会うことができたりと、自分自身の可能性を大きく広げてくれます。在籍校を離れて1年間国内留学するという決断には、カリキュラムの違いなど、様々な不安があると思います。しかし、高2という期間は人生で一度きりしかやってこない、高2留学という選択肢を一度でも検討した皆さんには後悔のない決断をしてほしいです。一歩踏み出した皆さんを応援しています!

留学は大きな決断だと思いますが、悩んでいるなら挑戦した方が後悔しないと思います!

13

地域高2留学

地域高2留学

14



地域高2留学 Q&A

「地域高2留学」とはどのような事業ですか？

A 「地域高2留学」は、内閣府の「高校生の地域留学の推進のための高校魅力化支援事業*」として、2020年度にスタートしました。在籍する高校とは別の地域の高校で1学年を過ごす「地域高2留学生」に、その高校ならではの魅力的な高校生活を送っていただけるよう、地域・高校が一元となってサポートします。株式会社読売広告社が、当事業の事務局を担っています。

*将来的な関係人口の創出・拡大を目指し、高等学校段階における「地域留学」を推進するため、全国から高校生が集まるような高等学校の魅力化に取り組む地方公共団体を支援する事業です。

留学まで、何から始めれば良いですか？

A 留学説明会にご参加ください。当日参加が難しい場合は後日「地域高2留学」公式サイト上で公開する、アーカイブ動画をご活用ください。留学の検討を進める場合、メールにて事務局に連絡し、在籍校への相談を始めましょう。

応募するための条件はありますか？

A 応募時に高校1年生であること(学年制ではない場合は、1年間の地域留学を経て在籍校に戻り1年を過ごして卒業すること)、生徒が留学先校で修得した単位を在籍校が卒業に必要な単位数に加算してもらえること(応募前に、在籍校と留学先校で留学可能である旨の確認が得られていること)、他、各留学先校が定める応募条件を満たしていること(公式サイト内「応募・検査要項」を参照)をご確認ください。

3年間で高校を卒業できますか？

A 教育課程や、卒業に必要な科目、単位数は学校ごとに異なりますので、在籍校の判断が必要となりますが、条件が整えば3年間で卒業することが可能です。

留学決定までの流れはどうなりますか？

A 留学の検討を進める場合、在籍校の先生に留学を検討したい旨を伝え、メールにて事務局に連絡してください。在籍校の先生と一緒に、留学について、留学可能な学校について、検討しましょう。合同学校説明会や留学先校面談に参加し、「留学志望校」を決めてください。「現地訪問」で応募の意思を固めたら、在籍校より応募し、検査を受けることになります。

留学中の費用はどうなりますか？

A 生徒は在籍校に在籍を続けるので、基本的には在籍校に授業料を納入することになります(海外留学に準じるなど、在籍校の規定によります)。留学先校では授業料は徴収しませんが、学級費や学年費、学校行事等への参加費、寮費や食費等の生活費(1ヶ月2~6万円程度)は負担することになります。他に、生徒会費、PTA会費など、学校だけでは決定できない費用もありますので、在籍校と留学先校それぞれに確認が必要です。

住む場所はどうやって探すのですか？

A 各留学先校が、寮もしくは下宿先を確保します。(学校検索でご確認ください)

安心して学び、生活するためのサポート体制はありますか？

A 留学先校は、生徒数が少ない分、一人ひとりが主役になれる環境です。高校と地域を結ぶ「コーディネーター」を中心に、下宿先のご家族、寮の管理人さんなど、地域全体で生活面・メンタル面を見守ります。

検査制度はどうなっていますか？併願は可能ですか？

A 公式サイト内「応募・検査要項」をご確認ください。第2志望まで併願は可能です

留学を検討するにあたり、どこに問い合わせれば良いですか？

A 高2留学の全体の仕組みについては、「地域高2留学」公式サイトをご確認いただくか、メール(support@kouniryugaku.jp)にて事務局までご連絡ください。

お問い合わせは support@kouniryugaku.jp まで



地域高2留学の流れ

01 生徒による連絡メールを送信

期間：6月～9月中旬をめど

留学の検討をされる生徒は「生徒連絡メール」を事務局へ送信します。同時に、在籍校の先生にも留学を検討したい旨を必ず伝えてもらい、「在籍校へのご案内」を渡します。事務局は、「生徒連絡メール」を受けて、在籍校に今後の流れをメールにて(必要に応じて電話)案内をいたします。

02 留学可能校を確認する

期間：6月～9月中旬をめど

在籍校と留学について話し合い、「留学可能校」を確認します。在籍校に案内した「在籍校向け資料一式」で留学先校で履修できる必修科目リストや応募条件などを確認し、「留学可能校」を絞り込みます。事務局は、在籍校に事務局宛の「在籍校連絡メール」で「留学可能校」を含め検討状況を連絡するように依頼します。

03 留学志望校を決める

期間：～9月下旬をめど

留学希望者は、「留学可能校」の中から、「留学志望校」を決めるための情報収集を行うために、公式サイトより各種資料やオンライン説明会をご確認ください。「留学志望校」を決めたら、在籍校の先生に報告してもらいます。在籍校の先生が留学先校に連絡をとりつつ、必修科目以外についても在籍校の先生が、留学先校に連絡をとり、留学の実現可否を確認していただきます。留学可になった場合、在籍校より、留学先校に現地訪問調整を依頼していただきます。

※各留学先校により現地訪問の対応や申し込み締切期日が異なるので注意が必要です。

04 現地訪問する

期間：各留学先校によって異なる

留学先校と日程調整し、現地訪問を行い、学校だけでなく、寮や下宿・ホームステイ先などの住居や食事についても確認していただきます。

05 応募する

期間：10/27(月)～11/7(金)

現地訪問をして、最終的に「留学志望校」への応募を決めたら、在籍校の先生に報告し、応募書類の準備を行います。2校まで出願可能で、書類が整ったら、在籍校より留学先校への応募書類を提出していただきます。

勉強も、青春も、将来も、
答えは、一つじゃないはずだ。
今の場所から飛び出して、
答えを探しにいてもいい。
自分の気持ちに向き合って、
答えをつくりにいてもいい。
君がまだ出会っていない世界は、
限りなく広い。知りたいことを学んで、
温かい人に出会って、新しい文化に触れる。
そんな体験のひとつひとつが、
かならず人生の糧になっていく。
しばるものなんて、なにもない。
挑むことに、間違いなんてない。
だから、進もう。
君の行きたい方へ。
今しかできないことが、
君を変えていくから。

地域高2留学、
はじまる。

地域高2留学を検討する生徒の 在籍校関係者のみなさま

地域高2留学は、基本的には、留学する生徒が現在の在籍校に籍を残したまま、2年次に別の地域に留学し、3年次に在籍校に戻り卒業することを実現するための仕組みです(学校教育法施行規則第97条「学校間連携」を適用。なお、生徒・保護者が希望し、在籍校が認めれば、必ず「3年間で卒業することが前提で無ければ、留学することができない」ということではありません)。その実現のためには、在籍校と留学先校にて、事前に、評定・履修・費用・安全配慮などについて調整が必要です。生徒の希望や実情等に応じ、両校で調整を進めていただくようお願いします。

在籍校向け資料一式

- ① ガイドライン
- ② 在籍校ご検討の流れ
- ③ 応募・検査要項

応募書類

- ④ 留学志望理由書
- ⑤ 推薦書
- ⑥ 同意書

最終手続き書類

- ⑦ 確認書

仕組みに関する詳細情報や、応募検査要項を含む「在籍校向け資料一式」、「応募書類」は、「地域高2留学」公式サイトで公開しています。必要な資料等は公式サイトにてご確認ください。

「地域高2留学」公式サイト
<https://www.kouniryugaku.jp/>

